

# 現行計画の変更内容について

## ●ごみ処理における現状の問題点・課題

本市のごみ処理における現状の問題点・課題は次のとおりです。

排出抑制・資源化に関する課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う、外出自粛を始めとする新しい生活様式の浸透に伴い、今後家庭系ごみの排出量が増加する可能性があります。そのため、ごみの収集運搬、処理の円滑化のためにも、3R（発生抑制、再使用、再資源化）の推進とごみからの感染防止対策の推進が必要です。</li> <li>● ごみ総排出量は横ばいを示していますが、ごみ処理人口が減少しているため、1人1日当たりの排出量は増加傾向を示しています。本市では、食品ロス削減に向けた取り組みの推進や家庭系ごみの減量化・分別排出の徹底を図っていますが、さらなる減量化に向け、ごみの排出抑制や資源化を図っていく必要があります。</li> <li>● 再生利用率（リサイクル率）は、平成29年度をピークに低下傾向で推移していましたが、令和3年度は回復しており、今後も再資源化の拡大に努めていく必要があります。</li> <li>● ごみの中に資源ごみや不燃物類が混入しないよう、分別徹底を周知する必要があります。</li> <li>● 本市は、プラスチック容器、トレイやプラスチック使用製品廃棄物は、燃やせるごみとして処理していますが、プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律（令和3年6月法律第60号）の施行や再生利用率（リサイクル率）向上のためには、プラスチック容器包装廃棄物とそれ以外のプラスチック使用製品廃棄物の分別収集等により、リサイクルを行う取り組みを検討する必要があります。</li> <li>● 事業系ごみは、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う外出自粛が長引いたことで、オフィス等での人の活動の減少、飲食店などの利用減少による影響もあって排出量が減少したと考えられますので、引き続きごみの排出抑制や資源化を図っていく必要があります。</li> </ul>
収集・運搬に関する課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 今までの収集体制を維持し、今後も収集サービスが低下しないよう努めていく必要があります。</li> </ul>
中間処理に関する課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 三田市クリーンセンターは、稼働から約30年が経過し、各設備・機器の劣化が進行しています。ごみ処理を安全かつ安定的に進めるため、新ごみ処理施設の稼働目標年次である令和10年度に向けて、所定の事務手続きを迅速かつ適切に進めていく必要があります。</li> </ul>
最終処分に関する課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本市で発生する焼却残さは、大阪湾広域臨海環境整備センターの最終処分場にて最終処分を委託していますが、今後とも安定的かつ継続的な最終処分を継続するためには、最終処分量をより減少させていく必要があります。</li> </ul>

## ●計画の目標値

ごみ量の目標値は、家庭系ごみ量は現行計画で定めた値を最終目標とします。また事業系ごみ量は現状維持に努めます。

### 【現行計画】

目標項目		平成28年度実績値	令和4年度目標値 (中間目標)	令和9年度目標値 (最終目標)
① 家庭系ごみ量	全体量(可燃・不燃・粗大・ペット・びん・集団)	632g/人・日	614g/人・日	-2.8%
	資源ごみ・集団回収を除く量 (可燃・不燃・粗大)	523g/人・日	495g/人・日	-5.4%
	燃やすごみのみの量 (可燃)	482g/人・日	453g/人・日	-6.0%
② 事業系ごみ量	全体量(可燃・不燃・粗大・ペット・びん)	257g/人・日	252g/人・日	-1.9%
	資源ごみ・集団回収を除く量 (可燃・不燃・粗大)	241g/人・日	234g/人・日	-2.9%
	燃やすごみのみの量 (可燃)	239g/人・日	232g/人・日	-3.0%
③ごみの焼却量		30,487t	28,528t	-6.4%
④最終処分量		4,748t	4,468t	-5.9%
⑤再生利用率(リサイクル率)		15.4%	17.2%	+1.8ポイント



### 【見直し計画】

目標項目		平成28年度実績値	令和3年度実績値	令和4年度目標値	令和9年度最終目標値	令和3年度に 対して必要な 削減率・増加率
① 家庭系ごみ量	全体量(可燃・不燃・粗大・ペット・びん・集団)	632g/人・日	639g/人・日	614g/人・日	601g/人・日	5.9%削減
	資源ごみ・集団回収を除く量 (可燃・不燃・粗大)	523g/人・日	542g/人・日	495g/人・日	476g/人・日	12.2%削減
	燃やすごみのみの量 (可燃)	482g/人・日	488g/人・日	453g/人・日	434g/人・日	11.1%削減
② 事業系ごみ量	全体量(可燃・不燃・粗大・ペット・びん)	257g/人・日	243g/人・日	252g/人・日	243g/人・日	-
	資源ごみ・集団回収を除く量 (可燃・不燃・粗大)	241g/人・日	208g/人・日	234g/人・日	208g/人・日	-
	燃やすごみのみの量 (可燃)	239g/人・日	207g/人・日	232g/人・日	207g/人・日	-
③ごみの焼却量		30,487t	28,718t	28,528t	26,190t	8.8%削減
④最終処分量		4,748t	3,580t	4,468t	3,232t	9.7%削減
⑤再生利用率(リサイクル率)		15.4%	17.0%	17.2%	19.6%	2.6P上昇

●基本理念

本市は、令和3年6月の市議会定例会の市長提案説明において、2050年ゼロカーボンシティの表明を行ったことを受けて、見直し計画では基本理念の『ごみゼロ』を『ゼロカーボンシティ』に変更します。

【現行計画】

○基本理念：みんなでつくりたい ごみゼロを目指す循環型のまち さんだ

市民・事業者・行政が一体となって、限りなくごみゼロを目指し、三田市の豊かな自然と快適な生活環境を保つ循環型のまち

【見直し計画】

○基本理念：みんなでつくりたい ゼロカーボンシティを目指す循環型のまち さんだ

市民・事業者・行政が一体となって、更なるごみ減量化を目指すことにより、温室効果ガスの排出についてできる限り抑制し、森林による吸収などをあわせて考えることで計算上実質排出量がゼロとなる、豊かな自然と快適な生活環境を保つ循環型のまちを実現します。



●施策体系（具体的施策）

現行計画の具体的施策を精査し、施策の整理と重点項目の見直しを行いました。なお、基本方針や施策の方向性は変更ありません。

【現行計画】

【見直し計画】

